



大石神社の松枯れ対策 中間報告②(兵庫県赤穂市)

赤穂浪士・大石内蔵助を祀った由緒正しき大石神社の参道脇の松の劣化が激しく、樹勢の回復が望まれていました。これらの松に対して2015年3月から、1ヶ月に1回の間隔でスーパーER500倍希釈液を、1本あたり100ℓの土壤灌水をおこないました。施用するごとに針葉の緑も濃くなり、明らかな樹勢の向上が確認できました。



1ヶ月後



初回から二ヶ月半後



初回のスーパーER灌水の様子。松全体に枯れている針葉が目立ち、樹勢の衰えが激しい。

(2015.03.17 撮影)

初回から一ヶ月後。新しい芽が出始め、松全体の勢いが出てきているのが観察できる。

(2015.04.21 撮影)

初回から二ヶ月半後。針葉の緑が濃く、ツヤがあり、樹勢が上がっているのが確認できる。

(2015.06.03 撮影)